



【三好丘小学校 人権を意識した大樹祭】

三好丘小学校では、11月25日(土)に大樹祭を行いました。開会式では、「It's a Small World」を全校児童で手話を交えながら合唱しました。

大樹祭の最後を飾った6年生の発表のテーマは「We are the world 世界の

人権」でした。6年生が6つのグループに分かれて、歌や合奏、踊り、語りなどで世界の民族の文化を次々に紹介しました。

日本のアイヌ民族の文化を紹介するグループは、祭りでの歌や踊りを通して紹介しました。独特な歌声やユニークな踊りもたいへん魅力的でした。6年生は、図工でアイヌ柄を施した写真立てを制作したり、10月26日(木)にアイヌの方から直接、歌や踊りを教えてもらったりしました。

南米のアンデス地方の文化を紹介するグループは、「コンドルはとんでゆく」などのアンデス地方の音楽を手作りのポンチョを着て演奏しました。

中央アジアの文化を紹介するグループは、布をまとってイスラムの女性になりきってパキスタンに伝わる話の語りをしました。

アフリカの文化を紹介するグループは、ケニアのマサイ族に変身し、長い棒を持って高くジャンプしたり、ボンゴの音に合わせて歌ったり、踊ったりしました。

ヨーロッパの文化を紹介するグループは、高い山々に囲まれたスイスの楽しい歌をヨーデルで歌ったり、踊ったりしました。

オセアニアの文化を紹介するグループは、ニュージーランドの

ラグビーチームが試合前に相手を威嚇して踊る、先住民族アボリジニの伝統的な踊り「ハカ」を、力強い動きと大きな声で迫力満点に披露しました。そして、最後に6年生全員で「世界中のまだ見ぬ友へ」を2部合唱で歌いました。

それぞれの国や地域の文化を互いに知り、心と心が通じ合うようになれば、世界共通の人権を守ることができると思います。世界史も、日本史も、今までいろいろな人の活やくがあったから、今の自分があるのだと思いました。文化や言語がちがっても人間であるということは同じです。世界中にある様々な文化を私たちが未来につなげていくことが大切だと思いました。

三好丘小学校 6年 村上まりあ



【 全校合唱での手話 】



【 6年生 スイスの文化の紹介 】



【 6年生 オセアニアの文化の紹介 】

【道徳で学んだことを実践】

6年生では、道徳「花びんのある駅」の学習後、「自分たちの手で、自分たちの地域をより素敵なものにしていこう」という気持ちが高まり、地域を素敵にするための実行委員会が立ち上がりました。実行委員が中心となって活動を話し合った結果、毎週月曜日の給食後に、20～30分間、正門前や遊歩道の掃除を行うことに決まり、早速活動しています。今の時期は落ち葉がたくさんありますが、掃除をした後は、とても気持ちのよい遊歩道になっています。

(環境づくり研究部長 吉川寿馨)



【 遊歩道の清掃活動の様子 】



【人権委員会によるアンケート分析】



【いじりについての話し合い】

12月11日(月)、三好丘中学校では全校生徒が体育館に集まって、いじめをテーマに人権集会を行いました。実はこの人権集会は、開校初めての取組でした。この集会にいたるまでに、①いじめに関する意識アンケート、②いじめについてのDVD視聴、③各学級で「いじめとは何か」ということについての話し合い、と多くの場面でいじめについて考えてきました。「一方的に暴力や無視をすること」「相手に身体的、精神的なダメージを与えること」「どこからがいじめなのか決められない」「やられた側が決めること」などの意見がでました。



【人権擁護委員さんの講話】

人権集会では、人権委員会によるアンケート結果の分析発表、各学級でのいじめについての意見を発表しました。その後、「いじり」について話し合いました。「相手が困っているか見ることが大切」「いじりを見たらすぐに止めた方が良い」「いじられている人に『大丈夫?』と声をかける」「いじられている側の気持ちを考えることが大切」という意見がでました。話し合いの後には人権擁護委員の近藤照美さんから、いじめはどんな理由があっても許されることではないという講話をいただきました。

私たち一人一人は違う存在であり、違った個性をもっています。居心地のよい集団であるためには、お互いを認め合い、相手の気持ちを考えながら過ごすことが大切だということを学びました。

(研究主任 林 勝也)

キーワードは「にこにこ」

黒笹小学校では「にこにこ」という言葉をキーワードに、人権教育を展開しています。12月7日(木)の1時間目に、「にこにこ集会(人権集会)」を開催しました。集会では、各学年の代表児童が、日ごろの学習から人権について学んだことを「にこにこ発表会」で伝え合いました。



【選手とスポーツを通して思いやりを考える】



6年生は、名古屋グランパスの選手を招いた「人権スポーツ教室」から学んだことを発表しました。スポーツを通し、世界中のみんなが差別の気持ちを無くすことの大切さ、手と手を取り合うことの大切さを学んだと発表しました。



【アイマスクでコミュニケーションの大切さを学ぶ】

4年生はブラインドサッカーチーム名古屋ミックスセンスの選手と交流したことを発表しました。アイマスクをし、目が見えない中でコミュニケーションをとることの難しさや、声をかけ、手を差し伸べることの大切さを学んだと発表しました。

図書委員会は絵本「ともだち」(谷川俊太郎)の読み聞かせ、生活委員は人権標語の発表をしました。本校の作品だけでなく、三好丘中学校、三好丘小学校の人権標語も紹介し、3校がともに人権を学び合っている意識を高めました。最後に全校472名で「スマイルアゲイン」を合唱し、全校がにこにこ、温かな気持ちになりました。

(研究主任 岩田 智)